

平成27年産水稻の出穂状況について（8月6日現在）

1 出穂状況等（概況及び今後の管理）

- 8月6日現在、61,051ha（水稻作付見込面積の94.4%）で出穂が確認され、間もなく穂揃期（県作付見込面積の95%で出穂）に達する見込みである。
- 登熟期間※¹に高温が続くと乳白粒等の白未熟粒が多発し、品質低下を招く恐れがあるため、本田の水温・地温を低下させる被害軽減策として「昼間深水・夜間落水管理」※²、または用水の確保が難しい地域においては「走水等により土壌を常に湿潤状態に保つ水管理」を行うよう指導している。
- 斑点米カメムシ類は発生時期が早く、発生量も多い※³ことから、薬剤防除は「穂揃期」と「その7～10日後」の2回実施するよう指導している。本年は、穂揃期が早まっていることから1回目の防除が遅れないよう注意喚起している。

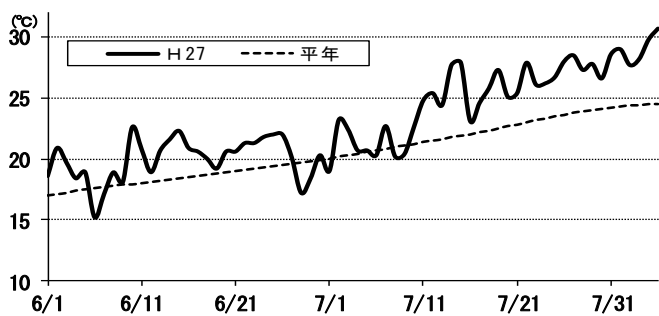
※1 籾殻の中で米粒が成長する期間

※2 水田の地温を下げるため、晴天等の高温時において、昼間は出来るだけ深水管理とし、夜間は逆に落水管理とする水管理方法。

※3 県病害虫防除所が7月29日に発表した平成27年度発生予察情報注意報第3号による。

2 具体的データ

(1) 平均気温の推移（仙台アメダス）



(2) 旬別の気象データ（仙台アメダス）

	平均気温(°C)		降水量の合計(mm)		日照時間(時間)	
	平年差	平年比	平年比	平年比	平年比	
6月上旬	18.8	1.2	30.0	90%	77.1	138%
中旬	20.6	2.1	4.0	9%	45.9	103%
下旬	20.5	1.2	96.5	147%	44.5	133%
6月	20.0	1.5	130.5	90%	167.5	125%
7月上旬	21.2	0.6	20.5	34%	44.2	128%
中旬	25.6	3.6	25.5	38%	69.6	198%
下旬	27.2	3.5	8.5	17%	77.3	154%
7月	24.8	2.6	54.5	30%	191.1	160%

(3) 地方振興事務所・地域事務所別及び地帯区分別出穂状況

①地方振興事務所・地域事務所別

地区名	水稻作付見込面積(ha)	8月6日現在出穂状況			進行月日			(参考)平成26年度		
		出穂面積(ha)	進行率(%)	出穂始期	出穂期	穂揃期	出穂始期	出穂期	穂揃期	
大河原	6,795	6,478	95.3	7/25	7/29	8/6	7/30	8/2	8/8	
仙台	12,320	11,282	91.6	7/26	7/30	—	7/30	8/4	8/9	
大崎	18,285	17,545	96.0	7/25	7/29	8/5	7/29	8/1	8/5	
栗原	8,998	8,085	89.9	7/26	7/28	—	8/1	8/3	8/7	
登米	9,887	9,450	95.6	7/28	7/30	8/4	7/30	8/1	8/6	
石巻	7,449	7,381	99.1	7/25	7/29	8/4	7/29	7/31	8/6	
気仙沼	928	830	89.4	7/29	8/2	—	8/2	8/5	8/9	
県計	64,662	61,051	94.4	7/26	7/29	—	7/30	8/2	8/8	

②地帯区分別

地帯区分	水稻作付見込面積(ha)	8月6日現在出穂状況	
		出穂面積(ha)	進行率(%)
山間高冷	993	851	85.7
西部丘陵	5,469	5,163	94.4
北部平坦	42,520	40,113	94.3
南部平坦	5,460	5,241	96.0
三陸沿岸	1,584	1,434	90.5
仙台湾沿岸	8,635	8,249	95.5
県計	64,662	61,051	94.4

※出穂始期、出穂期、穂揃期は、それぞれ水稻作付見込面積の5%、50%、95%以上が出穂した日である。

※平成27年産作付見込面積は、農産園芸環境課でとりまとめた主食米の作付見込面積を用いた。

(4) 出穂時期の比較

区分	出穂始期(5%)	出穂期(50%)	穂揃期(95%)
本年	7月26日	7月29日	—
前年	7月30日	8月2日	8月8日
平年	8月3日	8月6日	8月12日
平年差	8日早い	8日早い	—

※平年値は平成17～26年の10か年のうち最も早い年と最も遅い年を除いた8か年の平均値を用いた。

※次回は、8月10日現在の出穂状況を8月11日発表予定です。